

長崎大學醫學部救護班編成ニ關する件

昭和24年7月12日午後2時長崎弁嶽善醫院ニ於テ會議

〔人員編成〕

長崎大學醫學部救護本部 (長崎班) 本部長 佐藤 院長

部長 佐藤 部長 辻村教授

幹部 柴田助教授 川本 專 副手

朝永助教授 山本 康 務 係 長

瀨川助教授 村山 婦 長

辻 藩 師

~~小田 藩 師~~

別表第一

各支隊

第一班 調外科(2) 乳胸内科(2) 皮膚科(2) 小児科(1) 薬局(2) 看護婦(2) 事務(1)

第二班 辻村外科(2) 婦人科(2) 植田内科(1) 眼科(1) 小児科(1) 薬局(2) 看護(2) 事務(1)

① 班長は随時 幹部中より任命するニト。

- ② 若し長崎市内の負傷者が多数病院に收容せしむる場合は、班員中より外科の班員を削除し、他の教室より充当すること。
- ③ 班員の氏名は別紙の通りであるが、若し当人に異変ある時は其の教室の他の医員を以て交替せしむること。
- ~~④ 車震発生の際に本部長、幹部及び班員は直ちに新興善医院に集り、協力の結果速かに適当の處置を講ずること。~~
- ⑤ 節節時内中に車震発生する時は、本部長及幹部は長崎在節の中心に其任に当ること。

〔需要物資〕

1. 大医救 (大行李) (2) 諫早倉庫にストックあり
2. 医療費 (編帯費) (26) 少数は薬庫にあるやも知れず (原君 述)
3. 脱章 (30)

以上は産科の用度係にて見送り、概らに製作準備するに。

4. 繃帯材料

繃帯、三角巾、かべ、馬木、斜削膏、脱脂綿、下綿、

止血帯、ケツテル、タンカ(2)、安全針、小刀、懐中電燈

5. 薬劑

次下、毒下、アルコール、リゾール、薬酒、産科病劑等

6. 器具器械

シロート、ハサミ、コップ、注射器、金属製30管、等

以上は用度係の準備に託して見送り、概らに準備するに。

7月13日 午後2時 博早醫院 心臓会談.

〔人員編成〕

長崎大學醫學部 救護本部 (博早班)

博早部長	潤 教授	樋口 助教授
幹部	平井 助教授	二瀬 子 助官
	荒木 助教授	岩崎 子 助官
	佐藤 助教授	垣本 婦長
	高橋 助教授 (内)	荒木 婦長
	佐藤 講師 (内臨)	
	高橋 講師 (外)	
	小田 講師 (婦)	
	市井 講師 (内)	

第一班 調外科 (3) 新浦内科 (1) 小児科 (1)

耳鼻 (1) 手術 (1) 看護婦 (2)

第二班 辻村外科 (1) 婦人科 (2) 板内内科 (1)

耳鼻科 (1) 耳鼻 (1) 手術 (1) 看護婦 (2)

上記各氏隨時 幹部中より 任命す。

班員の氏名は別紙の通りである。

他は長崎班の場合と同じ。

〔需要物資〕

長崎班の場合に準ずる。

以上

長崎大學一醫學部附屬病院救護班

本部長 辻村教授

本部長 辻村教授

柴田助教授

賴川助教授

朝長助教授

辻 講師

川本藥劑師

一瀨事務長

一 班

影浦内科 楠木滋男 原田義男

調外科 野口恭一 藤井浩

皮膚科 矢野貞三 芦塚卓郎

小兒科 木下永忠

二 班

横田内科 清家照文

辻村外科 正 義幸 木村博臣

眠科 吉岡久春

婦人科 山尾倍 杉山文生

小兒科 權藤孫

婦人科

藥局

看護婦

事務

、

池田貞一

川崎すみ

小林敏雄(高橋)

木下啓一

安三子

藥局

看護婦

事務

深堀豊三

笹本幸正

稲高松雄(金計)

柳原量

堀川良

長崎大學醫學部附屬第二病院救護班編入人名表

第一班

科別

氏名

住所

備考

調外科

崇陸滋

市内永昌外

本田三徳彦

市内八天外

井本満徳

市内八天外

影内 鯨坂英也

市内

吉田忠人

市内

岩車忠雄

市内宇都外

原 直司

市内

増田八三

市内

山林廿三

市内

調外科

築二班

巽	辻井北科	陣田久四郎	院	由
婦人科	伊集院久進	市内天満寺一三〇一	院	由
〃	平田満節	院	由	由
横田科	藤田侃	市内八坂分三〇九	院	由
耳鼻科	柴田秀二	院	由	由
薬局	松本和彦	院	由	由
事務	末田与三	市内永昌分三〇	院	由
辻井科	本田道子	院	由	由
小児科	中村幸代	院	由	由